

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年3月3日 (2016.3.3)

【公開番号】特開2015-231569(P2015-231569A)

【公開日】平成27年12月24日 (2015.12.24)

【年通号数】公開・登録公報2015-081

【出願番号】特願2015-175848(P2015-175848)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

A 6 1 B 5/055 (2006.01)

A 6 1 M 5/145 (2006.01)

A 6 1 M 5/142 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 3 3 Z

A 6 1 B 6/03 3 7 5

A 6 1 B 5/05 3 8 3

A 6 1 M 5/145 5 0 0

A 6 1 M 5/145 5 1 0

A 6 1 M 5/142 5 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年1月13日 (2016.1.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シリンダとシリンジピストンを備えたシリンジを保持して前記シリンダに対して前記シリンジピストンを相対移動させるピストン駆動機構と、

このピストン駆動機構を制御する制御機構と、

医療画像撮像装置にデータを送信するデータ出力手段と、

前記シリンジに備えられたシリンジ情報を記録しているデータキャリア手段からシリンジ情報を受け取るシリンジ情報受領手段と、

を備え患者に薬液を注入する薬液注入装置のためのコンピュータプログラムであって、

前記データ出力手段に、薬液注入データを前記医療画像撮像装置に送信する処理を行わせ、

前記薬液注入データは、使用した薬液に関する情報、注入量、注入時間に対して注入速度を表した注入プロファイル、および注入時間に対して注入圧力を表したプロファイルからなる群から選ばれる少なくとも 1 つである、

コンピュータプログラム。

【請求項 2】

さらに、

前記データ出力手段に、前記シリンジ情報を前記医療画像撮像装置に送信する処理を行わせる、請求項 1 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 3】

さらに、

前記薬液注入装置と医療画像撮像装置の撮像動作とを連動させて薬液注入動作を実施す

る処理を行わせる、請求項 1 または 2 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 4】

前記医療画像撮像装置が、CT 装置、MRI 装置、PET 装置、超音波診断装置、CT アンギオ装置、または MRA 装置である、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 5】

前記シリンジ情報受領手段が、IC チップのデータを読み取る RF 通信機である、請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 6】

さらに、

前記シリンジ情報と患者の検査内容とを照合して、正しいシリンジか否かの判断を行う、請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 7】

シリンダとシリンジピストンを備えたシリンジを保持して前記シリンダに対して前記シリンジピストンを相対移動させるピストン駆動機構と、

このピストン駆動機構を制御する制御機構と、

医療画像撮像装置にデータを送信するデータ出力手段と、

を備え患者に薬液を注入する薬液注入装置のためのコンピュータプログラムであって、前記データ出力手段に、薬液注入データを前記医療画像撮像装置に送信する処理を行わせ、

前記薬液注入データは、使用した薬液に関する情報、注入量、注入時間に対して注入速度を表した注入プロファイル、および注入時間に対して注入圧力を表したプロファイルからなる群から選ばれる少なくとも 1 つである、

コンピュータプログラム。

【請求項 8】

シリンダとシリンジピストンを備えたシリンジを保持して前記シリンダに対して前記シリンジピストンを相対移動させるピストン駆動機構と、

このピストン駆動機構を制御する制御機構と、

外部にデータを送信するデータ出力手段と、

を備える薬液注入装置。